

交通の意義について

授業内容

①交通の意義と機能

交通とは、「人、モノ、情報の場所的、空間的移動」と定義されます。私たちは、乗り物を使って人やモノが、ある場所から別の場所へ移動することを交通と思っています。しかし、それだけではないのです。情報の移動も交通に含まれるのです。なぜ情報の移動までもが交通なのか、交通の本質を探っていきます。

②交通サービスの需要と供給

交通需要は、派生的とよく言われます。その理由を解き明かしていきます。他方、供給は、通路、ターミナル、運搬具および動力など、物的な生産要素を通じて行われます。そのような生産要素は、時代の変化とともに大きな変貌を遂げ、今日に至っています。その変化の過程を見ていきます。

③今日的な問題

昨年4月29日に関越自動車道でツアーバスの大事故が起きました。直接的な原因は、運転者が過労で居眠り運転したためだと言われています。その一方で、規制緩和により、安全性がないがしろにされたことが遠因だとされています。規制緩和が本当に事故を誘発したのでしょうか。それを検証します。

この講義で身につくこと

交通は毎日の行為です。交通なくして、私たちの生活は一日も成り立ちません。それは、私たちが分業社会に生きているからです。交通の発展を歴史的に跡付け、交通の機能を検証していきます。交通が未発達な時代と比べて現代がいかに便利な世の中か、改めて認識できるようになると思います。

所要時間

1時間



高崎商科大学
商学部
教授 吉岡 秀輝

<専門分野>
交通論